

向き合う、時間

〔特集1〕瀬戸内国際芸術祭2013 夏会期、開幕！

〔特集2〕VTS（対話による美術鑑賞）ファシリテーター・森弥生氏に聞く

瀬戸内国際芸術祭シリーズvol.2

夏会期、開幕！

瀬戸内国際芸術祭2013は、約26万3000人の来場者で賑わった春会期に続き、7月20日から夏会期がスタートします。

9月1日までの44日間、夏会期限定で公開する伊吹島や夏会期から始まる作品に注目が集まっています。



I. かつての灯台に代わって光を放つミラーボール作品

II. 古井戸から現れる全長8mの化け物

III. 「福武ハウス アジア・アート・プラットフォーム」として再生予定の旧福田小学校

IV. 家庭の思い出がきっかけアートとして再生

V. 醤油のたれ瓶を用いたインスタレーション

島全体がアートに包まれる
小豆島

関西方面からの玄関口となる坂手港では、ヤノベケンジの巨大ミラーボール作品「ザ・スター・アングラー」が来島者を迎えてくれます。太陽のような光り輝く球体の上に、水の神様である龍が鎮座し、叫びを上げる姿は圧巻です。坂手港近くの古井戸では、話題作ビートたけしとヤノベケンジのコラボレーション作品「ANGER from the Bottom」が登場しています。島にある古井戸の底に潜む巨大な地霊的化け物が、時折現れて人々を脅かすという寓話的な彫刻作品。

姫路と小豆島をつなぐ福田港がある福田地区では、この夏、「福武ハウス アジア・アート・プラットフォーム」が誕生します。会場は、2009年に廃校となった旧福田小学校。建築家・西沢立衛がリノベーションし、展示会場、カンファレンスルーム、レストランなどに生まれ変わります。今年は7つの国と地域から美術関係機関が参画し、アジア諸地域の様々な民族的背景をもった人々が協働する場を形成していきます。



《予告》

秋会期では、犬島で維新派が
新作野外公演！

2002年以来、犬島で3度の上演を果たしてきた維新派。大阪を拠点に国際的に活動する彼らが、今回の芸術祭にも登場。本作は、島の南側に位置し、小豆島や豊島、屋島などが一望できる絶景の海水浴場で展開します。

作品名／ MAREBITO

構成／松本雄吉 音楽／内橋和久

日時／2013年10月5日(土)～10月14日(月・祝)

※休演日10月8日(火)

開演17:30 終演19:20(上演時間1時間50分)

※各日共通

開場17:00 ※屋台村開場15:30

チケット発売／7月6日(土)

お問合せ／NPO法人アートファーム TEL 086-233-5175

詳細は公式ウェブサイト参照

<http://setouchi-artfest.jp/>

夏シーズン作品鑑賞パスポート発売中

前売販売：7月19日まで

一般：4,000円(当日4,500円)

※岡山県・香川県の高校生は、学校を通じ配布済みの無料引換チラシをインフォメーションセンターで提示すれば、高校生パスポートが入手できます。中学生以下は無料。

開催期間：

夏 | 7月20日(土)～9月1日(日) 44日間

秋 | 10月5日(土)～11月4日(月・休) 31日間

会場：

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港・宇野港周辺、中西讃の島々(沙弥島[春]・本島[秋]・高見島[秋]・粟島[秋]・伊吹島[夏])

豊島横尾館、マイク+ダグ・スターンの
作品「Big Bambú」が豊島に新登場

アーティスト・横尾忠則による「豊島横尾館」は、豊島の玄関口となる港に面した家浦地区の集落にある民家を改修して造られます。館内は、三連の大作絵画や豊島にあるY字路を描いた新作を中心に、生と死をひとつのものとして考える哲学的な場を展開します。

甲生地区では、竹林の中に数千本の竹による、巨大な作品が出現します。作家は、兄弟ユニットのマイク+ダグ・スターン。竹はナイロンロープで繋がれながら、ロッククライマーなどによって組み上げられていきます。鑑賞者は巨大な構築物の通路を登り、周りの風景を眺めることができます。

8月25日には、朗読と音楽による「音の絵本Ⅱ よだかの星」が、唐櫃(からと)公堂で開催されます。当財団の助成対象団体で前回の芸術祭にも参加し、好評を博しています。

I. 豊島横尾館イメージ図 (提供：永山祐子建築設計)

II. マイク+ダグ・スターン「Big Bambú」イメージ写真

III. たくさんのリングがついているユニークなバスケットゴール



維新派「MAREBITO」(Photo:Yoshikazu Inoue)

美術作品を前に「この絵のなかで、いったいなにが起っていますか?」と問いかけることから始まる「対話による美術鑑賞」(Visual Thinking Strategies=VTS)は、1980年代後半にアメリカで調査・研究が始まりました。岡山県立美術館では、いち早く導入し、学校と連携した鑑賞教室を行っています。「正解」ではなく「思考」するプロセスを重視するVTSは、企業の人材育成などにも取り入れられ始めています。

岡山県で早くから教育現場や美術館などでVTSを実践してきたファシリテーター・森弥生氏に特徴や効果について伺いました。

VTS (Visual Thinking Strategies)

1980年代後半に、ニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞教育の手法。開発に携わったアビゲイル・ハウゼンとフィリップ・ヤノウィンらによれば、美的思考力・認知能力・観察力・推察力などを向上させる手法であるとされている。



I

—VTSとはどういう鑑賞方法ですか？

アート作品をグループでよくみて考え、思ったこと感じたこと、発見したことなどを言葉にしてみんなと共有し、話をしながら理解を構築していく鑑賞方法で、みることを基本に思考力を養う教授法でもあります。ファシリテーターは、鑑賞者に問いかけ、発言しやすい安心感のある場を作り、適切な言い換え(パラフレーズ)や関連付け(コネクト)などによってさらなる思考の展開を促したりしながら、作品と鑑賞者を結ぶお手伝いをします。

岡山は、岡山県立美術館が全国に先駆けてVTSによる鑑賞に取り組んでいる背景もあり、ファシリテーターのボランティア養成、学校教育への普及活動に関して先進県です。

—学芸員による美術解説とは違うスタイルですね。

知識を提供するギャラリーツアーとは異なります。美術館を訪れる方が学芸員ぐらいの知識を持っていると、1人で鑑賞が楽しめます。しかし、多くの方は、美術は難しい、わからないと言って美術館を後にします。その理由は、鑑賞者に提供の仕方が合っていないからです。

—鑑賞者によって理解度が違うということですか？

アメリカの認知心理学者アビゲイル・ハウゼンは、人間の認知発達に段階があるのと同様、美術にも美的発達段階があると仮説をたて研究しました。その結果、アート作品に出合ったときの思考パターンを「自分流に物語を語る無邪気な」第1段階、「一般常識や社会通念などの枠組みに当てはめ、分かるか分からないかでパッサリ」第2段階、「美術史や文献的な知識に基づいて解説しようとする美術講座

大好きタイプ」第3段階、「作品と自分との関係性が明らかになるまでじっくり対峙する」第4段階、「5,000人に一人、個性と普遍性を統合しつつ、いつも新たな発見に出会う」第5段階と5つの段階に定義し、80～90%の鑑賞者は第1段階ないし第2段階に属している、鑑賞の初心者であるとわかりました。

すべての発達のプロセスと同じく、適切な時期に適切な作品と自発的に接するという経験のみによって美的発達段階は上がっていきます。アート作品と接する経験が少ない人は何歳であっても第1～2段階。美術の豊かな世界を理解するには、鑑賞者に合う提供の仕方が必要になってきます。

—鑑賞者に合う提供の仕方とは？

多くの鑑賞者は、知識を提供するだけのギャラリーツアーは合っていないということです。作品とその人をつないでいくためには、その人が主体的にみて考えたことをベースに、美的発達段階に合った鑑賞方法を提供していくことが必要です。

対象をみたときに言語化したことをきちんと表現し、他者と共有することで、言語能力やコミュニケーション能力があがっていくと同時に、対象を観察したり解釈したりする批判的思考力もあがります。対象が美術であれば、美的思考力が身につけていくことになります。

—その2つの要素を持っているのがVTSということですね。

VTSは、鑑賞者がみたものを言語化するプロセスを通して、作品と自分との関係をつくっていく手法。鑑賞者は子どもや大人、年齢や職業に関わらず作

II



VTS(対話による美術鑑賞)ファシリテーター・森弥生氏に聞く

VTSは、よくみて考えるエクササイズ



III

品に描かれているものについて語りながら、他者の感想や考えを聞きながら、様々なことを発見し、自分の経験と知識に照らし合わせながら、作品の意味を理解しようとしています。

—VTSの目的は？

鑑賞とは「みる人が主体に作品の意味や価値をつくり出していくこと」だと言われます。鑑賞とはまた「再創造」ともいわれています。作品は倉庫にあるうちは作者だけの作品ですが、倉庫を出て人前にでたとき、みた人にとっての作品になります。作者からは離れ、鑑賞者にとっての意味が生まれます。「わあ、きれい!」「何だ?分からんぞ!」と心の中で言葉にした時から、鑑賞が始まると言えますね。

—美術作品を使うのはどのような効果が？

美術は、時代や歴史、文化、言葉、思想、経験などたくさんの文脈の下で色や形となって表現されている非常に多義的なもの。その多義性に気づくことだけでも人間の思考はひろがります。

言語化を繰り返し行うことで、観察力や思考力が身につく、自分が伝えたい内容を正確に把握できる、つまり、自分で答えを導き出すことができるようになりますと同時に、これをグループで行うことで他者の思考に触れ、語り合うことでより豊かな鑑賞体験につながります。この一連の活動をファシリテーションが後押しするのです。

VTSは、よくみて考えるエクササイズ。美術館はもちろん学校教育、企業の人材育成などの場面で、この手法は取り入れ始められ、学習指導要領でも言語活動を重視することや、考える力の育成が挙げられていることと時を同じくして、次第に浸透し始めて

います。

—国吉康雄の作品がVTSに向いている理由は？

研究によれば、第2段階後期以降は、歴史的宗教的民族的なテキストを含むようなものから現代美術作品に至るまで、あらゆるアート作品が鑑賞可能だと言われています。

VTSの開発者の一人であるフィリップ・ヤノウィン元ニューヨーク近代美術館(MoMA)教育部長は、初心者向けの作品選びにおいて以下のポイントを挙げています。

○親しみやすい○興味を刺激する○多義性○物語性○多様性に富む○写実性○多様な技法(写真を含む)を楽しめる○様々な主題

これに当てはめて考えると、例えば岡山出身の画家・国吉康雄の作品は見事に当てはまりますね。一見、何が言いたいのかわかりにくい作品ですが、VTSをすることによって気づきが多い作品です。

★岡山県立美術館では、第3日曜日14時から対話型鑑賞体験ツアーを実施しています。詳しくは岡山県立美術館HPをご参照ください。

<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kenbi/taiken.html>



IV

I. 毎月第4土曜日に集まり国吉についてVTSをする出石国吉女子会
II. VTSで国吉の理解を深める活動をしている出石文化顕彰会
III. 岡山県立美術館で対話を用いた鑑賞を体験する小学生
IV. ベネッセハウスミュージアムで国吉康雄「ミスター・エース」(1952)を鑑賞



森弥生 ——— Yayoi Mori

岡山市に生まれる
岡山大学大学院教育学研究科修士
岡山県内公立中学校・岡山大学教育学部附属中学校で美術科を教える
現在は関西福祉大学・山陽学園短期大学・就実短期大学で図画工作・美術を教えている
2006 岡山県立美術館 アメリア・アレナス氏プロデュース「mite!展」で、VTSファシリテーターを務める
2005～2010 岡山県立美術館 学校と美術館連携委員会委員として、国吉康雄を使った美術鑑賞ガイド(小・中学校版)、アートラベリングトランク等の作成にかかわる
2011～12 京都造形芸術大学におけるフィリップ・ヤノウィン氏のVTS連続セミナー修了
2007～岡山県立美術館 対話型鑑賞ツアーボランティア
2013 瀬戸内現代芸術祭2013 国吉康雄展(ベネッセハウスミュージアム)のVTSによるギャラリーツアーに関わる

～教育研究助成 公開活動～

○ 第21回 岡山県国際理解教育研究会

開催日 平成25年8月22日(木)
会 場 ぐらしき健康福祉プラザ
助成先団体 岡山県国際理解教育研究会
問合せ 086-234-7750

○ 4校協同研修会 (要予約)

開催日 平成25年8月28日(水)
会 場 岡山ふれあいセンター
助成先団体 「聴き合い学び合う」授業づくり合同推進協議会
問合せ 086-224-0359

～研究大会助成 公開活動～

○ 一日子ども図書館フェスティバルinびぜん

開催日 平成25年8月4日(日)
会 場 備前市立図書館
助成先団体 岡山県読書推進運動協議会
問合せ 086-224-1286

～学力人間力育成事業助成 公開活動～

○ 教えて考えさせる授業セミナー in おかやま (要予約)

開催日 平成25年8月3日(土)
会 場 ビュアリティまきび
助成先団体 学力・人間力育成推進会議
問合せ 086-221-5254

○ 平成25年度連絡交流会 (要予約)

開催日 平成25年8月25日(日)
会 場 岡山プラザホテル
助成先団体 学力・人間力育成推進会議
問合せ 086-221-5254

～文化活動助成 公開活動～

○ 郷土作家シリーズⅦ 第5回I氏賞大賞受賞記念 加藤竜展

開催日 平成25年7月4日(木)～8月4日(日)
会 場 新見美術館
入場料 一般500円 中学生250円 小学生150円
助成先団体 財団法人新見美術振興財団
問合せ 0867-72-7851

○ 岡野屋旅館プロジェクト2013(無料)

開催日 平成25年8月17日(土)～26日(月)
会 場 勝山町並み保存地区
助成先団体 岡野屋旅館プロジェクト
問合せ 090-4256-9649(代表)

○ 戦争遺跡保存全国シンポジウム倉敷大会

開催日 平成25年8月17日(土)～19日(月)
会 場 水島愛あいサロン
入場料 2,000円(1日1,000円)
助成先団体 亀島山地下工場を語りつくす会
問合せ 090-2800-5118(和泉)

○ 木村善明パトリオニサイタル

開催日 平成25年8月24日(土)
会 場 岡山ルネスホール
入場料 大人2,000円 中学生以下1,000円
助成先団体 木村善明
問合せ 080-1933-4844

○ 朗読 心をつなぐー生きて歩いてー

開催日 平成25年8月24日(土) 14:00～ 18:30～
会 場 天神山文化プラザホール
入場料 大人1,000円 小人(学生)500円
助成先団体 1945年の夏を語り継ぐ会
問合せ 090-6436-9820(川上)

○ 第21回 岡山県国際理解教育研究会

開催日 平成25年8月22日(木)
会 場 ぐらしき健康福祉プラザ
助成先団体 岡山県国際理解教育研究会
問合せ 086-234-7750

○ piacere設立10周年記念公演喜歌劇「こうもり」全幕

開催日 平成25年9月7日(土)、8日(日)
会 場 就実なでしこホール
入場料 一般3,000円 学生1,500円
助成先団体 声楽グループ「piacere」
問合せ 086-298-3445(小野)

○ 第5回 キッズフェスティバル

開催日 平成25年9月8日(日)
会 場 岡山市民文化ホール
入場料 前売500円 当日600円
助成先団体 特定非営利活動法人こども夢未来プロジェクト
問合せ 086-256-2682(事務局)

○ 民族芸能アンサンブル ずっけけ狂言ばなし「すっぱビリビリじゃぼん」公演

開催日 平成25年9月13日(金) 18:30開演
会 場 百花プラザ多目的ホール
入場料 1人月1,100円(4才以上)2ヶ月在籍が必要 ※観賞料金は会費に含む。
助成先団体 特定非営利活動法人文化☆体験ネット西大寺子ども劇場
問合せ 086-942-1544

○ 楽しい打楽器音楽会 & ワークショップ(無料)

開催日 平成25年9月15日(日) 14:00～
会 場 総社市清音公民館
助成先団体 アンサンブルFlug
問合せ 090-9506-0237(出井)

○ GALAXY OPERA CONCERT

開催日 平成25年9月16日(月・祝)
会 場 玉島市民交流センター玉島湊ホール
入場料 1,500円
助成先団体 I GALATTICI OPERA CONCERTO
問合せ 080-6306-0362(小野)

○ 吹屋ベンガラ灯り(無料)

開催日 平成25年9月21日(土) 18:00～
会 場 吹屋ふるさと村町並み
助成先団体 中野吹屋青年団
問合せ 090-3639-9459(加藤)

○ 灯籠祭(無料)

開催日 平成25年9月22日(日) 10:00～
会 場 吹屋ふるさと村町並み
助成先団体 中野吹屋青年団
問合せ 090-3639-9459(加藤)

○ 第8回 はあとふるコンサート(無料)

開催日 平成25年9月22日(日) 13:30～
会 場 倉敷健康福祉プラザ5Fホール
助成先団体 第8回はあとふるコンサート実行委員会
問合せ 086-441-3930(事務局)

○ アンドレイ・ピサレフ リサイタル

開催日 平成25年9月22日(日) 15:00～
会 場 岡山ルネスホール
入場料 一般 3,000円(当日3,500円) 学生1,000円
助成先団体 倉敷エイコーン音楽教育研究会
問合せ 086-427-2083

○ アンドレイ・ピサレフ 公開レッスン

開催日 平成25年9月23日(月・祝) 10:00～
会 場 岡山ルネスホール スタジオ
入場料 聴講料2,000円
助成先団体 倉敷エイコーン音楽教育研究会
問合せ 086-427-2083

○ カールス・ルーエ アンサンブルコンサートvol.4「打楽器はおもしろい!」

開催日 平成25年9月23日(月・祝) 18:00～
会 場 岡山ルネスホール
入場料 一般3,500円 高校生以下1,500円(当日500円アップ)
親子ペア4,000円(前売りのみ)
助成先団体 アンサンブルFlug
問合せ 090-9506-0237(出井)

財団では、岡山県の教育に大きく貢献した福武哲彦氏(福武書店創業者・現ベネッセホールディングス)と、谷口澄夫氏(元兵庫教育大学学長・当財団初代理事長)の功績を顕彰し、さらに教育を推進するために福武哲彦教育賞、谷口澄夫教育奨励賞を設けています。今年度の受賞者は次のとおりです。

福武哲彦教育賞



元金光学園中学高等学校 校長

佐藤元信氏

昭和53年から33年間にわたり金光学園に奉職され、心の教育の推進や将来の専門性につながる「学び」を教育する探究クラスの開設など、先進的でユニークな教育内容の発展に寄与されました。また、校外でも私学教育関係の要職を歴任し、県下私立学校の協調及び連携強化に尽力するなど、岡山県の私学教育発展に大きく貢献されました。

谷口澄夫教育奨励賞



美咲町立旭小学校 支援地域コーディネーター

飯田純子氏

平成20年度、県下に先駆けて旭小学校支援地域本部ボランティアコーディネーターとして活動を始め、ボランティアを学校に取り入れた学習支援活動、環境整備活動、登下校の安全活動等に取り組まれています。



岡山県産業教育振興会

昭和27年の設立以来、産業教育に関する調査研究、教職員の資質向上、産業界・関係機関・産業教育現場との連携等の取組が続けられています。昨年行われた全国産業教育フェアの成功は生徒のチャレンジ精神、実践力の向上に大きな役割を果たしました。



特定非営利活動法人 タップ

平成18年から、子どもの放課後の居場所づくりとして学習の支援や文化普及活動を行っています。また、保護者の相談を受けたり家庭教育に関する学びの機会を設けるなど、安心して子育てができる多様な環境づくりを地域市民協働で行っています。

100年間の 鳴り止まない拍手

杉浦慶太

先日、生まれて初めて女優と話をしました。それは私が暮らす旧勝北町(現津山市)出身の方で、出演作がヴェネチア、トロント、カンヌと国際映画祭で上映された実力派です。

女優という誰もが夢見る世界の中で、スポットライトを浴びることが許される人間はほんの一握りです。そこには絶えず熾烈な生存競争が繰り返されます。

正直、素人目にも彼女は他の役者に比べ容姿や演技力が著しく秀でているようには見えません。しかし、スクリーンから目が離せなくなるほどの人を惹きつける魅力を持っています。

ところで、犬島精錬所美術館には精製されてから100年以上経った「カラム煉瓦」が使用されています。訪れる多くの観光客にとって、地味で鈍色の塊のそれは立ち止まるに値しません。

ふと私は黒一面のように見えた煉瓦の表面に豊かな表情と色彩が隠されているのを発見しました。しかも銅分を含んだそれは堅牢性に優れ、過酷な環境にも耐え続ける強度も兼ね備えていたのです。

私はそれと彼女の持つ、秘められた“強さ”というものを重ね合わせていました。外見だけでは決して計ることの出来ない“強さ”が時代を超え、人を感動させる力を持っていることを私は知っています。

数年前、彼女の作品がカンヌ国際映画祭で上映された際に5分間スタンディングオベーションが鳴り止まなかったそうです。

この小さな田舎町から出でた一人の女性が、世界を震わせた瞬間でした。

すぎうらけいた / 写真家 1980年岡山県生まれ。津山市在住。2008年「GEISAI #11」銅賞、「I氏賞」大賞 / 2009年「Daydream」(MaxProtech Gallery / ニューヨーク) / 2010年福武文化奨励賞、「ink jet」(CASHI / 東京)、「杉浦慶太展—農村の匠匠—」(奈義町現代美術館 / 岡山)

Editor's Comments

全国学力・学習状況調査の岡山県の結果は低迷していますが、県や市町村教育委員会はこうした状況を打開するため、学力向上に向けた様々な施策に取り組んでいます。財団でも学力向上に向けた取り組みを支援していますが、このうち退職教員の方々が自主的に行なっている「寺子屋高松塾」を見学してきました。土曜日の午前中、小中学生が集まってきて計算ノートや漢字ドリルの学習を思い思いに始めます。先生は子どもが求めるまで教えることはせず見守ります。また、「志を高くもとう」から始まる5つの守らなければならない「定」があり、子ども達に勉強の心構えやマナー等の学習規律を守らせませす。退職教員ならではの豊かな経験が生かされています。

今年度の第27回福武哲彦教育賞第13回谷口澄夫教育奨励賞受賞者が発表されました。このうち奨励賞の受賞が決まったNPO法人タップを訪問してみました。たくさんの小・中学生と一緒に宿題をしていて中学生が小学生に教えたり、ダンス練習の面倒を見たりしてワイワイガヤガヤ賑やかに過ごしています。どの子も「こんにちは」と元気に挨拶してきます。生き生きとした子ども達の笑顔がたくさんありました。

子ども達の落ち着いた生活環境が学力向上につながります。家庭の教育力低下も危惧される中、退職教員の豊かな経験と地域の教育力が活用されることが期待されます。(S)

季刊

不易

F U E K I vol.51 2013.7.15

編集・発行：

公益財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17
株式会社ベネッセコーポレーション本社3F
TEL 086-221-5254 FAX 086-232-3190
URL <http://www.fukutake.or.jp/>
E-mail eczaidan@fukutake.or.jp

制作：
株式会社 吉備人
デザイン：
田中雄一郎(QUA DESIGN style)
印刷：
広和印刷株式会社



FUKUTAKE
EDUCATION AND CULTURE
FOUNDATION

人づくり、地域づくりを応援します

公益
財団法人

福武教育文化振興財団